

請負事業体及び立木販売における災害発生報告(休業4日以上)

1 署 等 名	飛騨森林管理署
2 事業の種類	製品生産事業（事業名：製品生産事業（伐採・造林・貫作業ほか 阿多粕）飛騨4）
3 災害発生日時等	令和 6年 9月 26日（木） 9時00分頃 発生 怪我の程度： 右肩甲骨骨折、頸椎5・6・7番骨折、胸椎1番骨折、後頭部左下切創（3針） 休業見込み：1か月程度
4 災害発生場所	岐阜県高山市久々野町 阿多粕国有林 1295ろ林小班
5 契約相手方	有限会社 愛宝産業 代表取締役 愛知 隆治
6 事業実行事業体	同上
7 被災者年齢等	被災者 年齢：55歳 性別：男 2の事業の経験年数：24年 雇用区分：常用 社会保険等加入状況： ☒ 労災 ☒ 雇用 ☒ 健康 ☒ 厚生 ☒ 林退協
8 従事作業	伐倒作業
9 災害概況	当日、被災者は、同僚4名と作業前の安全ミーティング終了後、事業地に移動し、被災者を含む2名が伐倒集材、1名が造材・運搬、1名（現場代理人）が作業道開設作業、1名が地拵の作業を行っていた。 8：00頃 被災者は、同僚1名と伐倒作業を開始。 9：10頃 被災者は、カエデA（胸高直径8cm、樹高9m）を伐倒するため、受け口を切り終わり、追い口を切り込み、伐倒木が傾斜し始めたところ、隣接するミズメB（胸高直径26cm、樹高20m）に、折れて垂れ下がっていたと推測される枯れ枝（元直径6.5cm、長さ6m）が、伐倒木が傾斜した影響で隣接するミズメBから分断され約15m上方から落下し、被災者の首左側から右肩付近に当たり受災した。 9：30頃 被災者は、自力で土場まで下山し、現場代理人に被災した旨報告した。 9：50頃 現場代理人は、被災者を社用車に乗せ、高山赤十字病院に出発した。 10：40頃 高山赤十字病院に到着。 11：00頃 診察開始。 11：10頃 署へ災害発生を報告（次長受け）。 12：00頃 現場代理人より署へ、頭部CTは異常なし、また、引き続きレントゲン等の検査を行う旨連絡あり。 14：10頃 現場代理人より署へ、検査の結果、肩甲骨骨折の診断、また、16：30より頸椎の骨折疑いのため検査を行う予定との連絡。

	14：30頃 現場代理人が来署し、現在確認している情報を説明。 16：30 頸椎の精密検査開始。 19：20頃 被災者の家族より現場代理人に、頸椎MRIの診断結果、頸椎5・6・7番骨折、胸椎1番骨折、また、経過観察のため、入院となる旨連絡。 9月27日 7：30～9：30 現場にて社内安全会議を実施。 9：30～10：50 森林管理署（監督職員及び資源活用担当）が現地調査及び受注者（現場代理人及び作業員）への安全指導を実施。 10：10 現場代理人は署へ、頸椎MRIの診断結果を報告。 12：00頃 被災者は、高山日赤病院を退院。医師からは、通院加療の指示（10月3日脳外科、10月7日整形外科受診予定）。 16：30 現場代理人が来署し、現在の診察内容、状況等を説明。
10 その他特記すべき事項	9月26日 16：00頃 高山労働基準監督署に連絡（災害発生状況の説明及び現時点の診断内容の報告（頸椎骨折の可能性あり）） 9月27日 7：30～9：30 現場にて社内安全会議を実施 11：00～11：30 現地調査内容結果について、現場代人に確認 15：30～16：00 被災現場を社員で確認後、再度安全会議実施（TBM）







